

シンポジウム

アート市場への挑戦

障がい者の芸術表現の可能性

2014.1.11 sat.

13:30 - 16:30 (13:00 開場)

りそな銀行大阪本社講堂

大阪市中央区備後町2-2-1 (最寄駅: 大阪市営地下鉄中央線・堺筋線「堺筋本町」駅)

定員: 500名 (申込先着順) 参加費: 無料

手話通訳・要約筆記あり

主催: 大阪府、大阪市立大学都市研究プラザ

協力: りそな銀行、りそな総合研究所、毎日新聞社、NPO法人都市文化創造機構

後援: 厚生労働省

シンポジウム アート市場への挑戦 障がい者の芸術表現の可能性

近年、障がい者の芸術表現に対する関心と取り組みが広がりを見せ、海外からの注目度も高まっています。一方、「表現したい!」という思いを受け止め、創作環境を整えていくには多くの課題があることも事実です。

大阪府は平成20年度から「アートを活かした障がい者の就労支援事業」を開始し、作品を“現代美術”として評価するとともに、アーティストとしての自立の可能性を公民協働で模索してきました。これまでの成果と課題を検証しながら、「アート市場への挑戦」について皆さんと一緒に考えます。

日 時：平成26年1月11日(土) 13:30~16:30 (13:00開場)
 会 場：りそな銀行大阪本社講堂(大阪市中央区備後町2-2-1)
 定 員：500名(申込先着順)
 参加費：無料
 主 催：大阪府、大阪市立大学都市研究プラザ
 協 力：りそな銀行、りそな総合研究所、毎日新聞社、
 NPO法人都市文化創造機構
 後 援：厚生労働省

プログラム

13:30 — 開 会

13:40 — 対談「障がい者の自立支援—アート活動の視点から」

村木厚子氏
今中博之氏

14:40 — 休 憩

14:55 — パネルディスカッション「大阪府の“アートを活かした障がい者の就労支援事業”の課題と展望」

パネリスト(*50音順)：

笠谷圭見氏
藤原明氏
南巖宏氏
山口孝氏

コメンテーター：村木厚子氏・今中博之氏

モデレーター：佐々木雅幸

16:30 — 閉 会



最寄駅：大阪市営地下鉄中央線・堺筋線「堺筋本町」駅

※ご来場の際は電車・バス等の公共交通機関をご利用ください(会場に駐車場はございません)

むらき あつこ
村木 厚子 厚生労働事務次官

昭和53年労働省(現・厚生労働省)に入省。障がい者支援、女性政策などに関わり、雇用均等・児童家庭局長などを歴任。障がい者問題を自身のライフワークとし、異動で担当を離れた後も福祉団体への視察を続けてきた。近年は内閣府政策統括官(共生社会政策担当)および社会・援護局長として福祉や生活保護、ホームレス対策などにも携わり、平成25年7月より厚生労働事務次官に就任。



いまなか ひろし 社会福祉法人 素王会 理事長/
今中 博之 アトリエ インカープ クリエイティブディレクター

一級建築士としての仕事と、偽性アコンドロブラージア(先天性両下肢障がい)をもつ自らの体験を通じた視点で、社会福祉法人の経営企画・空間設計、企業や自治体のプロジェクトに多数参画。文部科学省・厚生労働省等の懇談会委員や国際障害者交流センター総合ビジョン策定検討会委員を務めるとともに、金沢美術工芸大学非常勤講師、京都大学地域研究総合情報センター研究員としても「福祉×アート」の重要性を発信している。著書に「観点変更」(創元社)等がある。



かさたに よしあき
笠谷 圭見 PR-y主宰/RISSI INC. 取締役副社長

クリエイティブ・ディレクターとして広告・映像・書籍・インテリア等のデザインに携わる傍ら、知的障がい者による創作物の魅力を世界に向けて発信するPR-y(プライ)というプロジェクトを主宰。様々なジャンルのクリエイターやアート関係者らと連携し、海外のギャラリーや研究機関との橋渡しを手がける。また、知的障がい者とのコラボレーションによるファッションブランドを立ち上げ、国内外のマーケットへの進出を果たしている。



ふじわら あきら
藤原 明 りそな総合研究所 プロジェクト・フェロー/
りそな銀行大阪地域インフォメーションオフィサー、法人ソリューション営業アドバイザー

天神橋筋商店街定期預金「百天満天百」をきっかけとした繁昌亭チャリティ寄席、清酒醸造による商店街活性化、FM802 との「RESONART」キャッシュカード、魔法瓶メーカーとの「マイすいとう」など、企業や地域の活性化の取り組みは500を超えている。2007年米国国務省インターナショナル・ビジター・リーダーシップ・プログラム招聘。立命館大学経営大学院・デジタルハリウッド大学院・大阪電気通信大学客員教授。



みなみしま ひろし
南巖 宏 美術評論家/女子美術大学教授/武蔵野美術大学客員教授

インドを放浪後、いわき市立美術館、広島市現代美術館などの創設に参画。パルティエ現代美術財団への留学を経て、熊本市現代美術館長、プラハ・トリエンナーレ2008 国際キュレーター、ベネチア・ビエンナーレ2009 日本館コミッショナーなどを歴任。ヒロシマ、アウシュヴィッツ、ハンセン病、東日本大震災などの経験を、「世界回復」(re+habilis)への導きの経験として受け止め、芸術表現の意義を根本的に捉え直し続ける。



やまぐち たかし
山口 孝 ギャラリーヤマグチ クンストパウ代表/ART OSAKA相談役

大阪堂島のギャラリーで7年間勤務後、1981年に肥後橋大同生命ビルにてギャラリーヤマグチを設立。2004年に大阪市港区の近代建築ビル内に移転し、名称を「ギャラリーヤマグチ クンストパウ」に変更。ギャラリー運営だけでなく、美術館での展覧会のオーガナイズや公共施設のアート設置などにも携わる。また、2002年国内で唯一の現代美術のアートフェアを組織化し、2011年まで実行委員長を務めた。



ささき まさゆき
佐々木 雅幸 大阪市立大学都市研究プラザ所長/同大学教授

わが国における創造都市論の第一人者であり、市民一人ひとりが創造性を発揮する重要性を唱えるとともに、NPO法人都市文化創造機構の理事長として創造都市の具現化と国内外のネットワーク構築に取り組んでいる。博士(経済学)。文化経済学会<日本>会長(2008-2010)、国際学術雑誌 City, Culture & Society の編集長も務める。著書は「創造都市への挑戦」(岩波現代文庫)、「創造都市と社会包摂」(水曜社、共編著)他多数。



参加申し込み方法

①氏名、②住所、③連絡先(電話番号・FAX)、④メールアドレス、⑤参加人数、⑥配慮の必要な内容(車椅子、点字資料必要等)を明記の上、郵送またはインターネットにてお申し込みください。

【郵送先】〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 大阪府福祉部障がい福祉室自立支援課社会参加支援グループ シンポジウム担当宛

【インターネット】シンポジウム アート市場への挑戦

【申込み締切】平成25年12月25日(水)まで(郵送:当日消印有効、インターネット:当日17時まで)(定員になり次第締切)

本シンポジウムに関するお問い合わせ先

大阪府福祉部障がい福祉室自立支援課社会参加支援グループ 〒540-8570 大阪府大阪市 中央区大手前2丁目 Tel:06-6944-9176 Fax:06-6942-7215